

断枝片葉（其四十三）

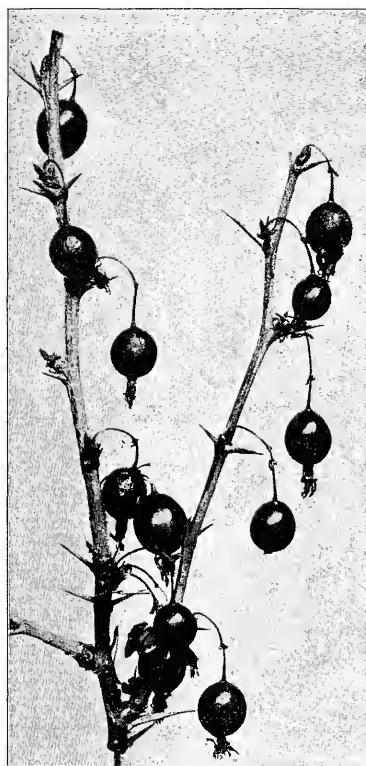
又古木實檢ニ向ツタノハ同月二十三日ノ午前十時頃名バカリノ粉雪ガサラ／＼スル日デアッタ、イキナリすてつきニ引カケテ一枝ヲボキリトヤルトコレハシタリ六百年ノ龍眼の木ハ一瞬ノ後ニハ化ケノ毛ガハゲテたゞのきトハ傷マシトモ傷マシ、寺ニハ恭シク

のり比し乃をしへとともにあげりゆくこずゑもきよきみそらなりなり

隆正

ト書イタ軸ガ床ノ間ニ掛ツテ居リ龍眼樹莊ト書イタ書ヤ大分名士ガ來テホンモノノ龍眼トシテ珍重シタモノラシカツタ、ソレデ住職ニハ氣ノ毒ダガ正義ハマグラレナイカラ牧野先生カラ嚴肅ニ引導ガ渡サレタ、然シ先生ノお獎メデ結局切ツテ佛像ヲキザムト云フ事ニ落着シタノハ芽出度イ事デアル、南無阿彌陀佛／＼

○断枝片葉（其四十三）



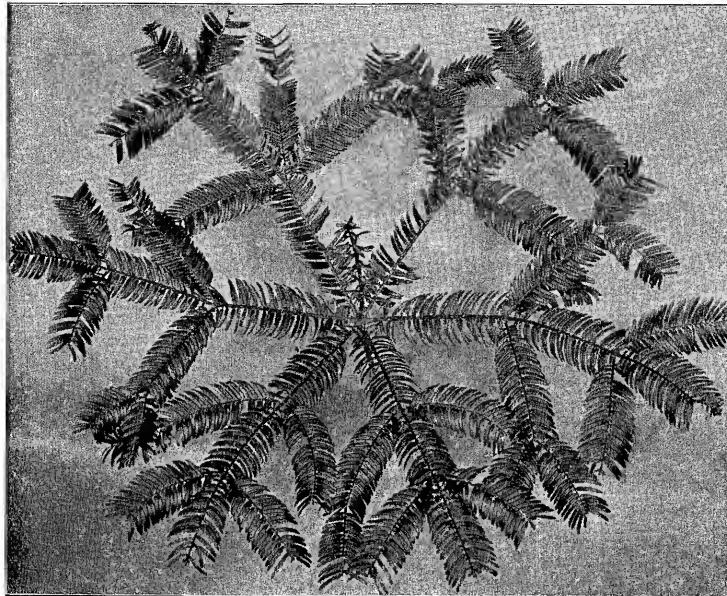
すぐり（中部日本産）
Ribes grossularioides MAXIM.

牧野富太郎

●すぐりトハ何ンナ植物力

今日

園藝界デハ學者ト謂ハズ實際家ト謂ハズ何レモ皆謂ユルノすぐりヲ知テ本物ノすぐりヲ知ラナイ、すぐりハ西洋カラ來タ *Currant* デモナケレバ又 *Gooseberry* デモナイ、是レハ即チ我邦特有ノ者デ此者以外ニ單ニすぐりト呼ブベキ植物ハ一モナイ、其レ



いねがや (*Cephalotaxis drupacea* SIEB. ET ZUCC.) の梢末
(清水龍太郎君撮影)

故若シ西洋種ノ者ヲ呼ブナレバ其レハ何々すぐり、
何々すぐりト其上ニ西洋トカ何トカノ形容詞ヲ付ケ
テ別チ呼ブベキデアル、其レヲ味噌モ糞モ一緒ニシ
テ單ニすぐりデハ意味ヲ成サナイガ園藝ノ方面デハ
兎角此ソナ類ガ多イノハ率直ニ言ヘバ其仲間ニ無學
者ガ多イコトヲ證據立テ、居ルト謂ヘル、すぐりハ
前述ノ通り我日本ノ特產デ *Ribes grossularioides*
MAXIM. ノ學名ヲ有シ中部日本ノ山地ニ生ジ其樹狀
ハ頗ル能クまるすぐり (此名ハ餘り良クナイ何トナレバ
ソレタセいやうすぐり) 即チ *Ribes Grossularia* L. ニ似タ
モノデアレドモ其花瓣ノ形狀等ガ違フバカリデナク
其實モ亦其レヨリ小形デ且熟スルト赤色ヲ帶ビル、
此樹モ取テ之レノ培養シ改良ヲ加ヘタラ立派ナモノ
ニナリハシナイカト思フガ今日マデ誰モ其レヲ試
ミタモノガナイノハ殘念デアル、此ニ其果實ノ寫真
ヲ掲ゲル實物ハ之レヨリハ大キク其レハ先年千野光
茂君ノ贈テクレタモノデアル
● 時々生長ヲ停
メルかや、いねがやノ頂條 かや (*Torreya nuci-
fera* SIEB. ET ZUCC.) 並ニいねがや (*Cephalotaxis*

drupea SIEB. ET ZUCC.) ニ在ツテハ其幹ノ末梢最上端ノ直立セル幹條ハ通常時々其生長ヲ停止シ其輪狀ニ出デタル側枝ハ毎年一節間ダケ生長スルモ一向ニ知ラン顔ノ半兵衛ヲキメ込ミ偶ニ思ヒ出シタヤウニ一節間ダケ生長ヲ遂ゲル、其レ故此ニ掲ゲタ寫真ノヤウナ姿ヲ呈スルコトニナル、即チ此寫真ニ見ルヤウニ側枝ノ方ハ年々お構ヒナシニ能ク生長シテ居レドモ中央ノ頂條ハ「ストップ」シ本家ハ太トラズニ分家ノミガ繁昌シテ居ル、此ンナ事ハ家ノ中デ考ヘテモ分ラン事ダガ山野ヲうろつくト時々御目ニカヽル

禾本類ノ葉鞘ハ其一方縦ニ裂テ居ルノガ通則ダガ然シ中ニハ其鞘ノ兩緣相聯合シテ完筒ヲ成シテ居ル事宛モ莎草科品ト同様ナモノガアル、即チどぢぢやうつなぎ屬(Glyceria)ノ諸種ハ皆是レデアル、又すすめのちやひき屬(Bromus)ノ諸種即チすすめのちやひき、わつねがや、いぬむぎナドモ同様デ又こめがや属(Melica)ノこめがやトみちはば、ほがへりがや属(Brylkinia)ノほがへりがやモ同様デアル

●あかしあノ二種 關西地

方大坂、神戸邊ニハ切花ニ用ウルあかしあニ二種アツテ諸處ニ其レガ植エラレテアル、即チ其一ハ金んば(銀葉)ト俗稱スルさんえふあかしあデ葉ハ白綠色ヲ呈シテ居リ *Acacia Baileyana*, F. MULL. ノ學名ヲ有スル、他ノ一種ハ之レヨリハ普通ノ品デ其再羽狀葉ニハふるくト細カキ小葉ヲ多數ニ着ケテ居ル、私ハレニふるあかしあノ名ヲ與ヘタ、數年前攝州蘆屋ノ一人家ニ栽エアルモノヲ見テ其家ノ下僕ニ其名ヲ尋ネタラアカシア、デルハーダト答ヘタ、是レハ多分アカシア、デアルバタ(*Acacia dealbata* LINN.)ヲ指シタモノデ本品ハ蓋シ此學名ノモノデアルト思フ

●みばづめ

曾テ田中貢一君カラ次ノ様ナ事ヲ聞イタ、即チ越後中頃城郡松ノ山村デハはだかほほづきニみばづめノ方言ガアル之レハ皆摘メヨト云フ意デ此草ノ葉ヲひたしニシテ食ヘバ頗ルうまいカラ見付ケタラ皆摘メヨト云フノデアル、はだかほほづきハなす科ノ大形ナル宿根草デ闊キ葉ヲ有スル

●じくばら 是レハくろうめもどれノ駿州富士山ノ方言デ枝ニ棘枝ガアツテ之レニ刺サルレバと

がめテ腫レル故斯ク云フトノ事デアル、又其材ガいすのむニ似テ居ルカラいすゞくらト呼ブ處ガアル